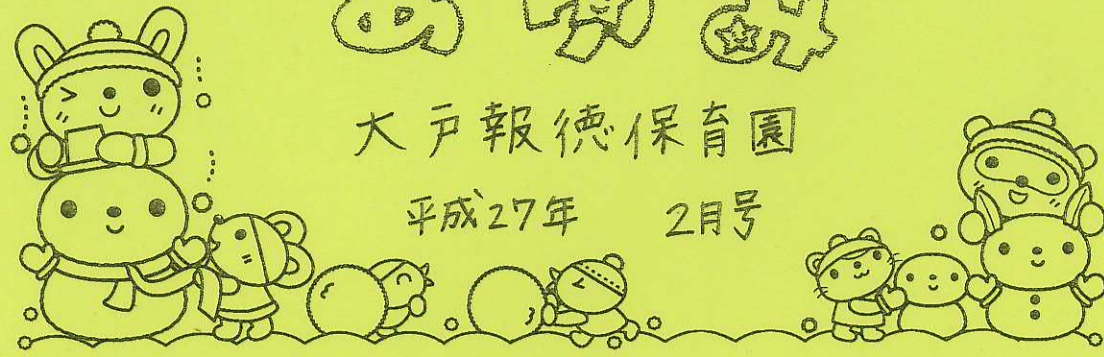


お楽しみ

大戸報徳保育園

平成27年 2月号



冬の空気のなか、まだまだ寒い日が続きますが、子どもたちを照らす太陽の光の温かさに春が近づいてくるのを感じます。空から舞い降りる雪に大興奮の子どもたちは、自分のスキーウェアに手や足を通し、「よし！準備できた!!」と笑顔を見せ、真白な広場に喜び、「雪だるま作ろうー!」「ふわふわだよ」と心を躍らせて遊んでいます。又、三宝作りでは「ここに貼ろう」と自分で考えながらペタペタシールを貼り楽しんで製作をしていました。 ※三宝は、豆を入れる物です。

これからも進級に向け、子どもたち一人ひとりの成長を一緒に喜び励み、体調を考慮しながら充実した園生活が送れるよう配慮していきたいと思っております。

0歳児

自分で立ち上がり、「一歩、二歩...」と日に日に歩数も増え、ハイハイも早くなり、活動の幅も広がってきました。また、オムツ交換時、ズボンを履く時に「自分で!!」と保育士に訴え、一人でやろうとする姿が見られるようになってきました。

- 行事予定
- 3日(火) 豆まき
 - 5日(木) 食堂ごっこ(踊り囃)
 - 6日(金) 避難訓練



おお願い

5日(木)の食堂ごっこでは、お家から持って来て頂いた割れない食器を使いたいと思っておりますので、2/2(月)までにお腕と皿を持って来て下さい。

1歳児

雪道につまずきながらもしっかりとした足どりで歩き「つめたい!!」と頬や鼻を赤らめて遊んでいます。又、2歳児の真似をして遊ぶことも多くなり同じ動きをしたり角虫れ合ったりし楽しそうな声がお部屋中に響いています。

2歳児

「雪遊びに行こう!!」と誘うと「やった」と喜び、友だちと雪をかけたたり、雪玉や雪だるまを上手に作って遊ぶ事ができました。又、お弁当包みや箸使いを遊びを通して取り組んでいます。

『熱が出たら、すぐ薬!』となっていないませんか?

※発熱は、ほとんどの場合、細菌やウイルスなどの病原体に感染した時、排除しようとして体の中で起こる免疫反応。つまり、体が病原体と戦っているサインなのです。発熱は、病原体の増殖を抑え、免疫力を高めるのです。生後3か月以降の子どもの場合、熱が38.5℃以上でも、比較的元気で、機嫌も悪くないなら、保冷剤を当てるなどして1日様子を見守り、翌日受診します。辛そうで夜も眠れない場合は、一時的に体を休める為に解熱剤を使ってもよいでしょう。子どもに解熱剤を使用する時には、種類や制限があるのでよく注意しましょう。